

土木工學下卷索引

(アルファベット順ニ排列ス)

A

揚却條..... 54
 あいすら一式衝擊鑽孔器... 427
 壓氣法(基礎)..... 558
 暗溝..... 204
 安定傾斜..... 406
 安全爆破藥..... 142
 安全導火線..... 148
 壓搾火藥..... 130
 壓搾空氣ト衛生..... 573
 壓縮土積ノ)..... 194

B

爆破法..... 76, 78
 爆破作業上ノ注意..... 169
 爆發導火線..... 150
 爆破藥..... 127
 安全爆破藥..... 142
 「プラスチック・ゼラチン」140
 「ダイナマイト」..... 134
 鹽剝爆破藥..... 144
 不凍「ダイナマイト」..... 139
 弱爆破藥..... 127

「カーボナイト」..... 138
 硅藻土「ダイナマイト」..... 136
 強爆破藥..... 127
 「ナイトログリセリン」... 135
 雷汞..... 132
 「グアルガン・パウダー」..... 138
 「ゼラチン・ダイナマイト」140
 爆藥..... 128
 びっくふーど導火線..... 149
 びっくふーど氏一齊點火裝置156
 「プラスチック・ゼラチン」... 140
 ぶるっくなー曲線..... 187, 279
 ぶーしねすく氏土壓論..... 337

C

築堤..... 206
 築堤ノ根堀..... 335
 沈下(盛土ノ)..... 194
 沈下曲線(地盤ノ)..... 436
 沈函法..... 554
 沈井法..... 540
 鋼材井筒..... 546
 木材及ビ混凝土井筒..... 546
 煉瓦井筒..... 541

通番號	67
購	富學堂
入	昭和10年4月6日

沈床法.....578
 ちるまん氏衝撃點火器.....158
 丁張.....221
 直列連結法.....166
 直列式(電力鑄道運搬法).....13,59
 直接掘鑿法.....75,76
 中央斷面法.....253

D

「ダイナマイト」.....134
 斷續器.....166
 傳爆藥.....183
 傳爆藥包.....151
 電磁石.....165
 電氣發火.....158
 „ 鑿岩機.....84
 „ 衝擊鑿岩機.....93
 電力空氣鑿岩機.....95
 „ 鑄道.....58
 „ „ 運搬法.....13,58
 電流源.....159
 出面.....282
 土壓公式
 ぶーしねすく氏土壓公式337
 破壞面ニ基ヅケル „.....356
 受働的 „.....328,395
 くーろむ氏 „.....305,359
 らんきん氏 „.....222
 斜面ニ於ケル „ 310,317,358

わいらうひ氏土壓公式.....358
 土壓ノ意義.....283
 土壓論.....283
 ぶーしねすく氏土壓論.....337
 土壓論ノ沿革.....297
 土楔論.....297
 破壞面ニ基ヅケル土壓論338
 解析土壓論.....297
 くーろむ氏擁壁論.....298
 内應力ニ基ヅケル土壓論299
 らんきん氏土壓論.....298
 土壓力
 地表面上ニ荷重アル場合
 ノ土壓力.....324,362
 土壓力度.....302
 土壓力計算用諸表.....312
 „ ノ働點.....305,369,391
 „ ノ方向.....305,311,366
 „ ノ大サ.....304,354
 „ 三角形.....298,354
 鉛直面ニ作用スル土壓力
301,359
 凝集力ヲ有スル土ノ壓力413
 受働的土壓力.....296,327,393
 斜面ニ於ケル土壓力.....
309,317,319
 隧道ノ支保工ニ加ハル土
 壓力.....416
 導電線.....159

土羽.....220
 導火線.....130,148
 安全導火線.....148
 爆破 „.....150
 びっくふーど „.....149
 緩燃 „.....148
 土楔論.....297
 土工.....1
 土工費.....270
 土工費ニ關スル注意.....281
 土工ノ平均.....181
 土工ノ主要作業.....2
 どこーグゐる軌道.....12,21
 土積縱斷面.....279
 土積曲線.....187
 ぶるっくなー曲線.....187
 ららんぬ曲線.....187,192
 土積算出法.....242
 中央斷面法.....253
 擬壩公式.....243
 へんく氏計算法.....251
 曲線ニ於ケル土積算出法255
 兩端斷面積平均法.....242
 等積水平斷面法.....252
 土積ノ縮小.....193,196
 土取場.....182
 E
 X形刃.....119

鉛直面ニ作用スル土壓力.....301
 鹽剝爆破藥.....114
 F
 複線式架空鑄道.....13,40
 振芝.....220
 不凍「ダイナマイト」.....139
 普通基礎.....422,453
 普通電管.....147
 普通鐵道.....12,29
 G
 擬壩.....243
 擬壩公式.....242,243,245
 擬壩公式ノ適用.....246
 五高庭斷面.....242
 凝集力.....283,285
 凝集力拋物線.....407
 凝集力係數.....285,294
 凝集力ヲ有スル土.....401
 凝集力ヲ有スル土ノ壓力.....413
 H
 破壞面.....295
 破壞面ニ基ヅケル土壓論.....338
 破壞面ヲ求ムル方法.....340,408
 發火.....155
 發火盤.....168
 發火開閉器.....168

I

發火器
 火花發火器.....160
 時限 „162
 空隙灼熱 „162
 灼熱 „161
 „ (シ-めんすは
 るすけ會社ノ) „161

箱粹.....547
 薄層式(盛土).....207, 209
 張土工.....224
 張芝工.....220
 發電機
 ダイナモ.....162
 ほるんはると氏摩擦發電
 機.....163
 磁電發電機.....162
 並列連結法.....166
 並列式(電力鑄道運搬法).....13, 61
 へんく氏土積計算法.....251
 曳振器.....16
 柄杓形掘鑿機.....10
 放下馬車.....21
 放下車.....33
 方形開機.....175
 ほるんはると氏摩擦發電機.....163
 星形双.....122

犬走.....203
 石粹法.....578
 移用軌道.....23
 井筒基礎.....540
 井筒ノ沈下.....549

J

弱爆破藥.....127
 地盤ノ耐重力
 岩盤.....441
 半流動土質地盤.....444
 砂利質 „443
 粘土質 „441
 砂質地盤.....442
 地盤ノ耐重力試驗.....436
 磁電發電機.....162
 時限發火器.....162
 地形.....420
 栗石地形.....462
 地均シノ土積算出法.....261
 角嚮 = 分割シテ計算スル
 方法.....261
 等高線 = ヨル方法.....267
 受働的土壓力.....327, 393
 十字形双.....119
 循環牽引鑄.....54
 循環鑄.....33, 34
 準面.....248
 準線.....248

K

カーボナイト.....138
 可動潜函.....566
 解析土壓論.....297
 開底箱.....35
 廻轉鑿岩機.....84, 104, 126
 火工品.....128
 開堰法.....528
 可動堰堰.....532
 捏粘土 „538
 土 „528
 框 „531
 矢板 „529, 534
 架空軌道.....13, 56
 攪亂鉤.....82
 架空鑄道
 電力鑄道運搬法.....13, 58
 複線式架空鑄道.....13, 40
 か-そん式 „52
 ろくみら-式 „54
 單線式.....23, 33
 架空運搬法.....12
 鐵楔.....76
 鐵挺.....76
 鐵矢.....76
 簡易運搬法.....12, 14
 緩燃導火線.....148
 環鑄.....60

換算荷重高.....324, 362
 間接掘鑿法.....75, 78
 か-そん式架空鑄道.....52
 搔浚具.....80
 火藥.....128
 壓搾火藥.....130
 黑色 „128
 棉 „131
 火藥ノ裝填及ビ填塞.....78, 150
 上總式鑿泉器.....431
 輕便鐵道.....12, 27
 硅藻土ダイナマイト.....136
 起爆劑.....146
 軌道運搬法.....12
 起重機.....74
 基準面.....265
 機械鑿孔.....82
 稀氣法.....558
 木杭.....473, 474
 緊張裝置.....39
 均等安定曲線.....408
 均等傾斜断面.....230
 錐ノ形及ビ大サ.....117
 切芝.....220
 切取.....1
 切取工事ノ實施.....198
 切取及ビ盛土ノ法ノ決定.....411
 基礎.....420
 普通基礎.....422, 453

杭打基礎.....422, 471
 水中基礎.....422, 528
 基礎地盤.....420, 428
 基礎地盤調査.....423
 あいすらー式.....426
 簡易ナル方法.....424
 上總式.....431
 基礎地盤ノ施設.....448
 岩盤.....450
 硬土地盤.....450
 軟土 „.....451
 基礎工設計ノ方針.....422
 基礎ノ價值.....420
 基礎ノ種類.....422
 基礎底面 = 於ケル 壓力ノ配
 布.....454
 汽鎚杭打機械.....500
 瘤節.....46, 49
 高張力雷管.....159
 杭冠.....476
 黑色火藥.....128
 捏粘土.....209
 金剛石鑿岩機.....112
 混凝土杭.....473, 486
 „ 脚層.....463
 „ 潜函.....565
 „ 矢板.....530, 531, 540
 厚層式(盛土).....207, 208
 鋼矢板.....530, 540

鋼材脚層.....468
 鋼材潜函.....563
 口附錐.....79
 空隙灼熱發火器.....162
 杭(特種ノ)
 藤尾式混凝土杭.....491
 複式杭.....490
 從杭.....477
 「コンプレッソル」杭.....493
 管杭.....479
 「ペデスタル」杭.....490
 「レモンド」杭.....486
 「シムプレックス」杭.....487
 「ウエルヘルミ」杭.....493
 矢板.....474, 529, 531, 534, 540
 杭ノ種類
 砂利杭.....473, 474
 地固 „.....473
 木 „.....473, 474
 混凝土 „.....473, 486
 螺旋 „.....473, 481
 柵 „.....473, 474, 483
 支 „.....473
 砂 „.....473, 474
 鐵筋混凝土 „.....473, 484
 鐵 „.....473, 479
 鏢 „.....473, 480
 杭ノ耐重力.....505
 杭ノ耐重力試驗.....519

摩擦杭公式適用上ノ注意513
 耐重力公式(柱杭ノ).....505
 „ (摩擦杭ノ).....507
 杭打方法.....494
 挿込法.....495, 504
 射水法.....495, 501
 衝擊法.....494, 495
 杭打機械
 汽鎚杭打機械.....500
 眞矢.....495
 墜鎚杭打機械.....495
 杭打基礎.....422, 471
 杭打基礎ノ手配.....522
 空氣鑿岩機.....84
 空氣衝擊鑿岩機.....84
 栗石地形.....462
 くーろむ氏土壓公式.....305, 359
 くーろむ氏擁壁論.....298
 掘鑿機
 柄杓形掘鑿機.....10
 連續桶式 „.....6
 犁起 „.....6
 掘鑿用器具.....3
 掛矢及ビ矢.....4
 犁.....4
 鉞.....3
 鏟.....3
 鶴嘴.....3
 掘鑿及ビ積込費用.....271

脚層.....453
 仰拱.....471
 混凝土脚層.....463
 鋼材 „.....468
 木材 „.....466
 脚層ノ設計.....455
 風爆破藥.....127
 曲線 = 於ケル土積ノ算出法255
 距積率.....187

M

捲揚機.....72
 撒出式(盛土).....207
 丸太杭打基礎.....472
 棉火藥.....131
 導火.....78
 耳芝.....221
 もほーく刃.....121
 畚.....15
 盲溝.....204
 木材格床.....466
 木材脚層.....466
 木材潜函.....562
 盛土.....1
 盛土工事實施.....206
 無蓋貨車.....31

N

長錐.....81

内應力ニ基ツケル土壓論.....299
 ナイトログリセリン.....135
 扭込法(杭ノ).....495, 504
 根積.....453
 二輪馬車..... 16
 „ 曳搔器..... 16
 „ 車..... 15
 鑿..... 77
 のれす氏點火器.....156
 法.....201
 法肩.....203
 法杭.....221
 法杭ノ設定.....224
 法尻.....202
 法ノ勾配.....215, 411
 法面ノ保護.....219

○

横壓力.....303
 横斷面積計算.....228
 不規則ナル地面.....240
 五高度斷面.....242
 均等傾斜斷面.....280
 三高度斷面.....237
 水平斷面.....228
 拗面.....247
 おぶちむす鑿岩機..... 91
 大槌..... 76

P

ピクリン酸雷管.....148

R

雷管.....147
 普通雷管.....147
 高張力 „159
 ピクリン酸 „148
 低張力 „159
 テトリール „148
 トロチル „148
 雷汞.....132
 らんきん氏土壓公式.....304, 358
 らんきん氏土壓論.....298
 ららんぬ曲線.....187, 192
 螺旋杭.....473, 481
 露出面.....169
 連束薬網工.....222
 連続桶式掘鑿機..... 6
 ろくみらー式架空●道..... 54
 ろーと氏點火器.....155
 兩端斷面積平均法.....242
 兩端斷面積平均法ノ修正.....243

S

截岩機..... 78
 最小抵抗線.....169
 鑿岩機..... 82

鑿岩機(ぶらんと).....109
 „ (だいつ).....103
 „ (だーりんとうん)..... 90
 „ (電氣)..... 84
 „ (電氣衝撃)..... 93
 „ (電力空氣)..... 95
 „ (エクリップス)..... 89
 „ (えりおっと).....107
 „ (ばいぜー).....106
 „ (はーづこつぐ鎚撃)..... 99
 „ (ほるまん凸子)..... 88
 „ (いんがーそる副弁
 附空氣)..... 85
 „ (廻轉).....81, 104
 „ (金剛石).....112
 „ (空氣)..... 84
 „ (空氣衝撃)..... 84
 „ (クラウン).....101
 „ (まーざいん)..... 93
 „ (おぶちむす)..... 91
 „ (らいなー鎚撃)..... 97
 „ (しーめんす・はるす
 け)..... 94
 „ (唧子)..... 84
 „ (てむぶる・いんがー
 そる電力空氣)..... 95
 „ (鎚撃).....84, 96
 „ (とらつ).....108
 岩機廻轉裝置..... 92

鑿岩機ノ比較..... 124
 „ ノ種類..... 84
 „ 支架.....113
 鑽孔..... 78
 三高度斷面.....237
 制動帶.....109
 掘函.....554, 555
 木材掘函.....555, 562
 鐵筋混凝土掘函.....556
 施行基面..... 1
 潜函.....559
 可動潜函.....566
 混凝土潜函.....565
 鋼材潜函.....563
 木材潜函.....562
 潜鑽.....559
 潜水作業.....569
 斜面ニ於ケル土壓力.....309, 319
 斜截頭三角礮.....262
 „ 四 „263
 瀉浚法.....212
 射水法.....495, 501
 遮水溝.....224
 芝付.....219
 柵留連束柴工.....223
 „ 藁工.....223
 試掘.....198
 心盛.....220
 心壁.....209

震力及震度.....291
 眞矢.....495
 四輪馬車.....19
 試鑽.....198
 試鑽法.....424
 衝擊杭打法.....494
 „ 鑿岩機.....84
 „ 鑽孔器.....426
 昇降機.....73
 鍾(シヨヴェル).....3
 收電子.....165
 主導線.....58, 59
 主開閉器.....168
 手力鑽孔.....78
 息角.....215, 287
 側面摩擦抵抗.....446
 導燃導火線.....150
 椰子鑿岩機.....84
 水中基礎.....422, 528
 „ (特種ノ).....577
 水中混凝土法.....577
 隧道ノ支保工 = 加ハル土壓
 力.....416
 水平断面.....228
 錐刃.....118
 筋芝工.....220
 鋤.....3
 犁起掘鑿機.....5
 すぶれんげる式爆破藥.....145

捨石法.....577

T

鑿(タガネ).....77
 帶狀運搬器.....71
 單線式架空線道.....13, 33
 低張力雷管.....159
 鐵筋混凝土杭.....473, 484
 點火.....78
 點火器.....155
 びっくふーどー齊點火器.....156
 ちるまん衝擊點火器.....158
 のーれす點火器.....156
 ろーと點火器.....155
 天然傾斜.....287
 顛覆車.....25
 天芝.....221
 手押一輪車.....67
 テトリール雷管.....148
 鐵鞍.....33, 35
 凍結法.....575
 等高線.....1
 特種水中基礎.....577
 沈床法.....578
 石棒法.....578
 水中混凝土法.....577
 捨石法.....577
 トロチル雷管.....148
 等積水平断面法.....252

筒線輪.....93
 鋤杭.....473, 480
 土ノ自働的壓力.....296
 土ノ受働的壓力.....296, 327, 393
 土ノ重量.....287
 土ノ支持力.....331
 土ノ息角.....215, 287
 土ノ息角 = 及ボス地震ノ影
 響.....291
 土棄場.....182
 鉋擊鑿岩機.....84, 96, 124
 鑿鑽杭打機械.....495
 鶴嘴.....3, 76

U

運搬費用.....274
 運搬法
 電力鑄道.....13, 58
 どこーウゝる軌道.....12, 21
 複線式架空線道.....13, 40
 普通鐵道.....13, 29
 架空軌道.....13, 56
 簡單ナル運搬方法.....12, 14
 かーそん式架空線道.....52
 輕便鐵道.....12, 27
 ろっくみらー式架空線道.....54
 帶狀運搬器.....71
 單線式架空線道.....13, 33
 土ヲ鉛直 = 引揚グル場合 72

運搬路 = 急勾配アル場合 67
 運搬用器具
 曳搬器.....16
 一輪手推車.....14
 舂.....15
 二輪馬車.....16
 二輪曳搬器.....16
 二輪車.....15
 四輪馬車.....19

V

ヴェルカン・パウダー.....138
 V形開鑿.....176

W

わいらふひ氏土壓公式.....358

Y

矢板.....474, 529, 531, 534, 540
 混凝土矢板.....530, 531, 540
 鋼矢板.....530, 540
 藥包.....37
 用氣法.....558
 用氣潛函.....554, 559
 豫期震度.....292
 抑子.....35
 有毒瓦斯.....189

工學博士 君島八郎氏著

君島測量學

菊判洋裝全一冊 紙數三百卅餘頁 圖版二百五十餘種
 正價金 參圓 郵稅 金拾貳錢
 本書は一般測量の方法と器械とに就て、理論と實地とを併用して二百五十有餘の挿圖を用ひ、極めて平易に叙述し、始めて測量を學ぶ者のために、つとめて習得を容易ならしむるものなれば、善く本書に通曉せば、單に一般測量を會得するのみならず、特別測量を習ふに當りても、亦た利益尠からず。

目次 緒論〇一、鎖測法〇二、測量器械附屬裝置〇三、羅盤測量〇四、測量用望遠鏡〇五、轉鏡儀測量〇六、水準測量〇七、平板測量〇八、六分儀〇九、面積〇十、體積〇十一、計算製圖用諸器械

○附錄和英對譯術語

工學博士 君島八郎氏著

君島大測量學

菊判洋裝全二冊 紙數七百十餘頁
 圖版三百二十餘種 精巧銅版十枚

正價上卷參圓八拾錢、下卷參圓五拾錢 郵稅各金拾八錢
 曩きに測量學を著して斯界の讀者に一道の光明を與へたる著者は、今また大測量學を公にして、特殊の測量を論述せり、即ち彼に於ては基礎となるべき測量の方法器械等を記載して、簡易なる平地測量の一般を知らしむるを旨としたれども、此に在りて進んで各種の異なる目的を有する測量を詳論し、其特色を明かにせり、要するに彼は猶ほ根幹の如く、此は宛か、枝葉に似たり幹枝相輔けて測量の能事畢る荷くも、測量の術に精通して何れの方面に處するものとして可ならざる無きを期せんと欲せば、本書を讀むを要す。

工學博士 柴田畦作氏著

工業力學

四六倍判全一冊 紙數四百餘頁 圖版三百餘種
 正價金 五圓 郵稅 金拾八錢
 柴田博士の工業力學は斯學の權威にして、獨り原理の精究に於て勝れるのみならず、専ら實際問題として抗張材、抗壓材各種の桁、軸、管、轉子、土の壓力、各種の水流、平衡線結構、堰、擁壁等に應用して最も其要を得たれば、斯學者皆之を案頭の伴侶としたりしが、今や前版に比し頁に於て七十餘、圖版に於て四十六個を増加し且大に其紙質を精良にしたれば體裁内容共に舊觀に非ず、況んや此書中の新定理、新公式は斯學の學生及び研究者を利益する事頗る多大也、簡單直截にしてしかも明快周到、庵丁牛を解くが如く鑿々として解説せらる。

佐々木恒太郎氏編

土木須用公式

袖珍革製一冊 紙數三百五十餘頁
 正價金壹圓五拾錢 郵稅金八錢
 日次要略：各國度量衡比較〇製圖の方法〇各種の公式〇水理灌漑水道の事例〇風波の關係〇橋材の強弱〇汲揚機及抗打機等の種類と功程及價格〇鐵具鐵品の種目重量〇工事の坪割見積〇其他の設計及單價表等

工學士 川口 虎 雄氏 工學士 遠藤 金 市氏
 工學士 三浦 鍋太郎氏 工學士 橋本 岩太郎氏
 工學士 小溝 茂 橋氏 得業士 德 弘 春 美氏

共著

土木工學

菊判洋裝 上 圖版三百種 紙數七百頁
 全三冊 卷 正價金四圓八拾錢 郵稅 金貳拾七錢
 中 圖版三百三十餘種 紙數七百頁
 卷 正價金六圓 郵稅 金貳拾七錢

上卷目次— 離備數學第一篇 解析幾何學大意：第一章 點〇第二章 直線〇第三章 座標軸の變換〇第四章 圓〇第五章 圓錐曲線 第二篇 微積分學大意：第六章 微分學〇第七章 積分學 第一篇 靜力學：第一章 總論〇第二章 力〇第三章 合力〇第四章 斜面ニ於ケル物體ノ平衡狀態〇第五章 一點ニ會セザル力〇第六章 平面形ノ忠心〇第七章 平面形ノ慣性應率〇第八章 外力ノ桁ニ及ボス影響 第二篇 結構ニ於ケル應用：第一章 一般ノ原則〇第二章 結構ニ加ヘル荷重〇第三章 應力ノ計算〇第四章 動荷重ヲ受ケタル單橋〇第五章 撓度及不靜定結構 第三篇 水力學：第一章 總論〇第二章 水壓〇第三章 浮體〇第四章 運動力器中ノ水ニ及ボス影響〇第五章 定流〇第六章 孔口ヨリ水ノ流出〇第七章 短管ヨリ水ノ流出〇第八章 缺口ヲ越セル水流〇第九章 管内ノ水流〇第十章 水路ノ水流〇第十一章 射水及流水ノ作用〇例題補遺

中卷目次— 第四篇 材料力學：第一章 應力及變形〇第二章 直應力ノ應用〇第三章 桁ノ開スル一般理論〇第四章 桁ノ撓度〇第五章 固定桁及連續桁〇第六章 合成應力〇第七章 長積〇第八章 扭力〇第九章 彈簧復働及働〇第十章 彈性論〇第十一章 彈性論及其他ノ應力 第五篇 接合及連結：第一章 木材ノ接合〇第二章 綴結〇第三章 鋼結 第六篇 混凝土：第一章 總論〇第二章 混凝土ノ原料〇第三章 混凝土ノ配合〇第四章 混凝土ノ捏混〇第五章 混凝土ノ攪方〇第六章 混凝土土工ノ仕上〇第七章 混凝土ノ性質 第七篇 鐵筋混凝土：第一章 總論〇第二章 桁ノ水平鐵筋〇第三章 桁ノ腹鐵筋〇第四章 床版〇第五章 柱又ハ抗壓柱〇第六章 水槽〇第七章 暗渠〇第八章 鐵筋混凝土工ノ撓度〇第九章 彎曲應力及直應力〇第十一章 型

原田碧氏編纂

用質 鐵筋コンクリート構法

袖珍總裝全一冊 紙數五百餘頁
圖版三百六十餘種 寫真版二十餘枚
正價 金 四圓 郵稅金拾貳錢
二十世紀の最新色を帯べる鐵筋混凝土の建築法として、家庭に橋梁に其經濟的強固的美觀的特色を發揮しつゝあるは誰人も明かに認むるところ也、この鐵筋混凝土の應用方法を披瀝する本書が發刊後未だ幾許ならずして第一版を賣盡せるは偶然に非ず、茲に第二版に於ては訂正を施し又新記事を添へ紙數に於て三十二頁圖版に於て三十六個を増と與も印刷及び紙質更らに美を加へ益々本書の價値を増大ならしめたり

工學博士 日比忠彦氏著

鐵筋混凝土

理論及其應用

三管洋裝二冊出版 紙數
圖版四百四十餘種 千五百二十餘頁
正價 各金 拾圓 郵稅金四拾貳錢
あらゆる工業界を通じて噴々せらるる鐵筋混凝土の原理ハ構法を詳論せる歐米の文籍は其數四百を算す、然るに邦文に成れるオランダチヂの好著の金く無きは實業家從學者の當に以て遺憾とせし所なるが、此博士の著は鐵筋混凝土の最新の理論並に其實際上於ける應用の方式を述説して、細密周到なれば、斯界に工業家諸氏は本書を精讀玩味して、以て設計建造上の資料に供せらるべき也

工學博士 廣井 勇氏著

築 港

菊判洋裝全二冊 紙數八百五十頁
前編 正價金參圓八拾錢 郵稅各金拾八錢
後編 正價金貳圓貳拾錢
日本の港灣は瑛玉の如し磨かざれば夜光の名玉とならず、船舶の輻輳するは是れ富の流れ入る也築港の要致にあり、技師及學者以外、瑛玉の港灣を控ゆる都市は本書に就て其專義を學べ
目次摘要 前編：一、概説 二、港灣の調査 三、海理 四、工事用材 五、工事用器械及工場 六、防堤波工事 七、護岸及防砂工事 八、浚渫工事
後編：一、泊船渠 二、繫船岸 三、陸上設備 四、修船渠 五、河口改良工事 六、大船運河 七、航路標識 八、港政 附錄

工學博士 君島八郎氏著

河海工學

菊判洋裝一冊 紙數七百七十餘頁 圖版二百餘種
正價 第一編參圓四拾錢 郵稅廿七錢 第二編參圓四拾錢 郵稅廿七錢
治水事業の困難にして港灣修築の困難なるは、偏へに此事業の性質上、水文地質等に俟つ所多し、獨り人力に依頼し能はざるに依る。本書は此困難を解決するの第一歩として、第一編に現象學の原理と其應用智識を、第二編に地下水及地表水を論述して、餘瀝なし、我河海工學の基礎的研究として當代倫を絶つる名什といふべし

工學士 栗原忠三氏著

水力事業論

菊判洋裝全一冊 紙數四百三十餘頁 圖版九十餘種
正價 金 參圓 七拾錢 郵稅金拾貳錢
第一章 水源 ○第二章 水路 ○第三章 水力 ○第四章 堰堤 ○第五章 建造物 ○第六章 水車 ○第七章 動力 ○第八章 電氣 ○第九章 輸送 ○第十章 電力應用 ○第十一章 測量及設計 ○第十二章 企業と社會 ○第十三章 貯水池 ○第十四章 貯水池 ○第十五章 雨量洪水量及び流出量 ○第十六章 電燈及び電力 ○第十七章 電氣化學 ○第十八章 電氣と農業 ○第十九章 年賦金 ○第二十章 我國著名水力事業の實例 ○第二十一章 拾遺 ○附錄 水二

工學博士 田邊朔郎氏著

水 力

菊判洋裝全一冊 紙數二百餘頁
圖版百四十餘種 寫真版及銅版圖九枚
正價 金 貳圓 拾錢 郵稅金拾貳錢
本書は緒言、水力調査、河川流量と水力に要する水量との關係及貯水量の計算、堰堤、水ノ原取入のために河川に設くる堰、堤、水路に於ける流水、水路構造、管中流水、水管敷設、各種鐵管の厚さ、重さ、其接続方法及木樋管、鐵筋混凝土管、鐵管注水、水路取入口及水門、壓力水管安全弁及水塔、水車場、水車水力馬力、計算の十章を載せたり

工學士 鶴見一之氏 共著
工學士 草間俤武氏 共著

土木施工法

菊判洋裝全一冊 紙數四百三十餘頁 圖版四百餘種
正價 金 四圓 郵稅金拾貳錢
第一章 石積工 ○第二章 煉瓦工 ○第三章 煉瓦工 ○第四章 煉瓦工 ○第五章 煉瓦工 ○第六章 煉瓦工 ○第七章 煉瓦工 ○第八章 煉瓦工 ○第九章 煉瓦工 ○第十章 煉瓦工 ○第十一章 煉瓦工 ○第十二章 煉瓦工 ○第十三章 煉瓦工 ○第十四章 煉瓦工 ○第十五章 煉瓦工 ○第十六章 煉瓦工 ○第十七章 煉瓦工 ○第十八章 煉瓦工 ○第十九章 煉瓦工 ○第二十章 煉瓦工 ○第二十一章 煉瓦工 ○第二十二章 煉瓦工 ○第二十三章 煉瓦工 ○第二十四章 煉瓦工 ○第二十五章 煉瓦工 ○第二十六章 煉瓦工 ○第二十七章 煉瓦工 ○第二十八章 煉瓦工 ○第二十九章 煉瓦工 ○第三十章 煉瓦工 ○第三十一章 煉瓦工 ○第三十二章 煉瓦工 ○第三十三章 煉瓦工 ○第三十四章 煉瓦工 ○第三十五章 煉瓦工 ○第三十六章 煉瓦工 ○第三十七章 煉瓦工 ○第三十八章 煉瓦工 ○第三十九章 煉瓦工 ○第四十章 煉瓦工 ○第四十一章 煉瓦工 ○第四十二章 煉瓦工 ○第四十三章 煉瓦工 ○第四十四章 煉瓦工 ○第四十五章 煉瓦工 ○第四十六章 煉瓦工 ○第四十七章 煉瓦工 ○第四十八章 煉瓦工 ○第四十九章 煉瓦工 ○第五十章 煉瓦工 ○第五十一章 煉瓦工 ○第五十二章 煉瓦工 ○第五十三章 煉瓦工 ○第五十四章 煉瓦工 ○第五十五章 煉瓦工 ○第五十六章 煉瓦工 ○第五十七章 煉瓦工 ○第五十八章 煉瓦工 ○第五十九章 煉瓦工 ○第六十章 煉瓦工 ○第六十一章 煉瓦工 ○第六十二章 煉瓦工 ○第六十三章 煉瓦工 ○第六十四章 煉瓦工 ○第六十五章 煉瓦工 ○第六十六章 煉瓦工 ○第六十七章 煉瓦工 ○第六十八章 煉瓦工 ○第六十九章 煉瓦工 ○第七十章 煉瓦工 ○第七十一章 煉瓦工 ○第七十二章 煉瓦工 ○第七十三章 煉瓦工 ○第七十四章 煉瓦工 ○第七十五章 煉瓦工 ○第七十六章 煉瓦工 ○第七十七章 煉瓦工 ○第七十八章 煉瓦工 ○第七十九章 煉瓦工 ○第八十章 煉瓦工 ○第八十一章 煉瓦工 ○第八十二章 煉瓦工 ○第八十三章 煉瓦工 ○第八十四章 煉瓦工 ○第八十五章 煉瓦工 ○第八十六章 煉瓦工 ○第八十七章 煉瓦工 ○第八十八章 煉瓦工 ○第八十九章 煉瓦工 ○第九十章 煉瓦工 ○第九十一章 煉瓦工 ○第九十二章 煉瓦工 ○第九十三章 煉瓦工 ○第九十四章 煉瓦工 ○第九十五章 煉瓦工 ○第九十六章 煉瓦工 ○第九十七章 煉瓦工 ○第九十八章 煉瓦工 ○第九十九章 煉瓦工 ○第一百章 煉瓦工

眞住 衡平氏著

發 電 水 力

菊判洋裝全一冊 紙數二百四十餘頁 圖版八十餘種
正價 金 壹圓 六拾錢 郵稅 金拾貳錢
目次概要：第一章 總論 ○第二章 流量重車の一班 ○第三章 水源地 ○第四章 水路及水管に於ける損失 ○第五章 開放水路 ○第六章 暗塞水路及水路隧道 ○第七章 水路水管 ○第八章 導水管及水槽 ○第九章 發電設備 ○第十章 企業の打算 ○第十一章 水量測定法

丸善株式會社發行工業書目

機 械 學 工學博士 宮城晉五郎氏著 正 判 洋裝全 三册 中 卷金四圓五拾錢 下 卷金四圓 郵稅各金十二錢	鐵工要具解說及製作業一班 工學博士 森總之助氏著 正 判 洋裝全 一册 郵稅各金拾貳錢	力 學 工學博士 久保田非右氏著 正 判 洋裝全 一册 郵稅各金拾八錢	製圖者必携 小室信藏氏著 正 判 洋裝全 一册 郵稅各金拾八錢	一般圖按法 今木七十郎氏編纂 正 判 洋裝全 一册 郵稅各金拾八錢	增補木工手便覽 工學博士 加藤與五郎氏著 袖珍總編金參圓 郵稅各金拾貳錢 後編金參圓 郵稅各金拾貳錢	工業物理化學 工學博士 加藤與五郎氏著 正 判 洋裝全 一册 郵稅各金拾貳錢	化學工業大要 工學博士 田中芳雄氏共著 工學博士 安藤一樹氏共著 正 判 洋裝全 一册 郵稅各金拾貳錢	最近化學工業試驗法 工學博士 荒川文六氏著 正 判 洋裝全 二册 中 卷金四圓五拾錢 下 卷金四圓 郵稅各金拾貳錢	訂荒川電氣工學 工學博士 荒川文六氏著 正 判 洋裝全 三册 中 卷金五圓 下 卷金六圓 郵稅各金拾八錢
--	---	---	---	---	--	--	--	---	--

鐵 鋼 製造法 工學博士 倭國一氏著 正 判 洋裝全 一册 郵稅各金拾八錢	鑽 床 學 工學博士 山口義勝氏編述 正 判 洋裝全 一册 郵稅各金拾八錢	金 鑄 製 鍊 法 工學博士 細井岩彌氏編 正 判 洋裝全 一册 郵稅各金拾八錢	電 子 論 工學博士 水野敏之丞氏著 正 判 洋裝全 一册 郵稅各金拾八錢	增補電氣計算法 海軍機關中佐 中條清三郎氏著 正 判 洋裝全 一册 郵稅各金拾八錢	鳳氏交流工學波動電動機 工學博士 鳳 秀太郎氏著 四六二倍判洋裝全 一册 正 判 洋裝全 一册 郵稅各金拾八錢	鳳氏交流工學變壓器及理論階梯第二編誘導電動機 工學博士 鳳 秀太郎氏著 四六二倍判洋裝全 一册 正 判 洋裝全 一册 郵稅各金拾八錢	鳳氏交流工學波動電動機理論階梯第三編及避雷 工學博士 鳳 秀太郎氏著 四六二倍判洋裝全 一册 正 判 洋裝全 一册 郵稅各金拾八錢	鳳氏交流工學交流理論 工學博士 鳳 秀太郎氏著 四六二倍判洋裝全 一册 正 判 洋裝全 一册 郵稅各金拾貳錢	訂改鑄山測量術 工學博士 齊藤大吉氏著 正 判 洋裝全 一册 中 卷金四圓五拾錢 下 卷金四圓 郵稅各金拾貳錢	金屬合金及其加工法 工學博士 齊藤大吉氏著 正 判 洋裝全 三册 中 卷金參圓五拾錢 下 卷金參圓八拾錢 郵稅各金拾貳錢
---	---	--	---	---	--	---	--	---	---	--